

カンボジアレポート

VOL. 1

小さな支援でも、
大きな貢献

鹿児島県労働者福祉協議会
理事長(団長) 立石 博文

史は長いが、国際貢献としての支援事業視察は今年で4回目となる。自身は3回目のカンボジア。プノンペンとは9年ぶり2回目、シエムリアップは12年ぶり2回目となる。

▼9年前にもカンボジアの小学校建設支援活動に参加し、子どもたちの置かれている生活環境や就学の実態を目の当たりにした。当時、ポル・ポト政権終焉による内戦後の復興の途上であり、都市化も進みつつあったが、首都プノンペンを中心である国会議事堂周辺にもスラム街が存在し、30分も車で走れば延々と川沿いにスラム街が続いていた。市街地周辺でも湿地帯の環境の悪い場所に足場が渡されたスラムが存在し、その近隣には政府関係者の豪邸があり、政情を物語っていた。両親が一日働いて収入150円弱、子どもの半数は小学校を卒業できないば



プノンペン的高级車販売店

もたちが教育を受けられ、人権を守り、親の労働と雇用を安定するものとして、貧困と格差の解消を支援する活動である。

▼今回の訪問でプノンペンもシエムリアップも都市化が顕著になっていることに驚いた。9年前、プノンペンは車の免許制は始まったばかりで、乗車定員の定めは無く、バイクもトラックも人は乗り放題だった。首都プノンペンでもほとんど3〜4人乗りのバイクや、荷台に溢れんばかりに人が乗った軽トラックを見かけたが、今回はそのような光景に出合うことは無く、世界の高級車が目についた。街はバイクを中心とした洪水のような車両の渦で大渋滞である。そして大規模ショッピングモールや高層ビル化が進んでいた。しかしスラムはいまだ存在し、格差はさらに拡大しているという。ちなみに、車は免許制になっているが、バイクは未制定（免許制は反対されて撤回）である。但し、ヘルメットは本年1月より義務化され2人乗りが原則となっていた。

▼シエムリアップは現在人口80万人、10年前は25万人だったそう。実に3倍である。治安も良く、仕事も多く人口は増加中とのこと。新国際線ターミナルがオープンし、さらに第2の国際空港を建設し観光客の倍

シエムリアップの「プリア・エンコセイ小学校」(左下:井戸水のパイプ)



増、年間700万人を目標している。緑地帯が開発され、ホテル・住宅・商店街が立ち並び町並みは様変わりし、道路も格段に整備が行き届いていた。驚きとともにまるで別世界を見るようだった。バイクについては12年前は5人乗りの見かけたが今回は3人乗りの1件のみだった。ナンバー無しも半分くらいあったが今回は全部ナンバーが装着されていた。

▼カンボジアは急速に経済発展している。日本の円の価値は04年100倍・07年80倍に相当したが今回は40倍だった。しかし、それでも我々の小さな支援は今でも大きな貢献に値する。カンボジアの小学校は6年制であるが、いまだ義務教育ではなく、卒業できない子どもや小学校に通えない子どもも多数いる。

▼労福協は4年間、就学機会を失ったまま成長した子どもや、

学校に通えない子どもたちの「寺子屋」支援と、事情により保護者が無く「保護施設」で暮らす子どもたち（4歳くらいから20歳になるまでの人たち、現在エファの支援で2人は大学に進学している）の施設を支援してきた。今回はエファジャパンを通じて40万円を支援した。さらに、独自にはシエムリアップの低所得者地域の小学校訪問を行い、学用品支援を行ってきた。大勢の子どもたちがアーチで出迎えてくれた。子どもたちの歓迎の踊りは1カ月前から毎日練習をしての披露だったそうだ。今回は先生たちとの食事交流も行った。校長先生から校舎の修理と水道施設の改善依頼があり、祈るような視線が忘れられない。

▼今回は団長としての参加だった。全員が無事に帰り着いたことが何よりだ。それぞれの思いでさまざまな見て感じ、学んでいたのだと思う。これを機会に更なる国際貢献の意義を広めていただきたいと思う。また、このような機会を多くの組合員に提供し、現状と支援活動に対する認識を持つてもらいたいということを強く感じた。東南アジアを含め世界にはこのような国々が数多く存在し、格差・貧困・教育対策の重要性を再認識した支援事業視察だった。

「カンボジアの歴史」と「環境にある子どもたち」

鹿児島労働者福祉協議会
専務理事 畑中 和広

昨年5月に専務理事に就任して初めての海外支援事業の視察であった。2012年に、「カンボジアの子どもたちへの教育支援活動」として資金援助を始めて4年目である。

▼最初、カンボジアの首都プノンペンに着いて感じたことは、路肩に投げ捨てられた「チリやゴミ」の多さに驚いたことである。また1月末は乾期であり、大気中は乾燥した大地の土などで埃っぽく、マスクが必要な状態であった。一部の地域だけのことかと思えば、バスの車窓から見える路肩のゴミの散乱状況は同じであった。自治体の環境衛生に対する取り組みが、かなり遅れていることもすぐさま分かった。

▼二点目は、40年ほど前の、ポル・ポト政権「負の遺産」といわれる刑務所跡の視察である。高校の教室を改造し、小さな拷問部屋・寝床（幅1m×奥行き2m程度）がいくつも作られ、全く罪もない子どもから老人まで監禁し、国家反逆の恐れがある知識人と称して、数年間で200万人ほどの国民を殺害した

と聞かされ驚くばかりであった。館内には拷問により殺害された方々の顔写真が数多く展示され、拷問部屋の床には当時の血痕がいまだに残っており生々しいものであった。見学最後の部屋には、「本物の頭蓋骨」がたぐさん置いてあり、展示品など目を覆う物もたくさん残されていた。いづこの地（国）であろうとも、このような悲惨な出来事を二度と繰り返してはならないと思った。

▼最後は、「寺子屋教室」や「児童保護施設」「小学校」で学ぶ子どもたちである。住む所は違っても「子ども」は国の宝で



子どもたちとの「触れ合い」

ある。カンボジアはこの数年、成長が目ざましく都市部と農村では貧富の差も大きい。寺子屋教室で学ぶ子どもたちは裸足同然であり、授業に臨む姿は昭和初期の映像を思い出させた。あいつつやお辞儀をしつかりと行い礼儀正しい。つぶらな瞳は何ものにも代え難い。しかし貧しくて「本やノート・教科書・鉛筆」など買えない。ましてや強風で今にも倒れそうな老朽化した木造家屋（寺子屋）の修繕はおぼつかない状況である。日本も社会保障制度をはじめ多くの政治課題はあるが、カンボジアの子どもたちとは比較にはならない。今回、視察をしてみて、現在の教育支援は、社会（国際）貢献活動として素晴らしいものだと感じた。

カンボジアの子どもたちを通して、日本を見ること

鹿児島労働者福祉協議会
専務理事 下町 和三

私は2012年の支援のための調査団での参加から、今回で何と4回参加した。その間で、何が変わって、何が変わってないか。統計的な事は分からないが、訪問して感じる【変わったもの】①プノンペンにイオンと吉野家ができた②プノンペン市内の車の交通量が増えた。しか

も高級車（レクサスとか）がざらに②バイクの5人乗りがいなくなり、運転手が皆ヘルメットをかぶっている③プノンペン市内の道路整備や高層ビル、観光地シエムリアップの空港拡充とホテル建設が進んでいる④アンコールワット遺跡の観光客がとて多くなっている。遺跡よりも観光客を見に来たのかという感じ⑤寺子屋がブルーシートから簡易のテーブル・イスになつていた。【変わっていないもの】①訪問先の子どもの笑顔と歓迎の歌・民族舞踊②訪問先寺子屋がある集落の環境。改善されていない③子どもたちの服装④郊外の衛生状態。川にも住宅の周りにもゴミが放置されたま⑤トレンサップ湖の観光船で勝手に客の肩たたきをしてドルを稼ごうとする（小学生くらい、日本人目当てか?）。

▼カンボジアは、1970年代から約20年間にわたり内戦、特にポル・ポト政権による非人道的な支配という負の歴史を乗り越え、急速に発展しているように見える。しかし、まだ、民生にその富が行き渡るまでにはなっていないと感じる。

▼都市では、携帯電話の店が並び高級車が行き交うものの、労働協が支援する子どもたちやその周りの環境は、私が6歳だった50年前の日本よりも厳しいと



寺子屋のある集落

思われる。都市部や社会の前面に見える姿の背後には、まだまだ貧困が横たわっている。

▼県労働協がエファジャンパンを通じて行う、子ども教育支援はまだまだ必要とされる活動なのだと思う。

▼翻って、現在の日本はどうか？ 格差、貧困、困難に直面した人間を包み込む、社会的包摂の再構築が今こそ求められている。

▼カンボジアの歴史と現在を見聞して、日本の歴史と現在を見つめ直し、共に希望のある明日を創っていくことが求められる。

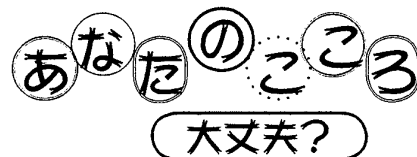
苦手で避けている可能性もあります。

周囲に不快感を与えている場合、理髪店のハサミの音や洗剤のにおいが

分がどう見えるか、どう思われているかを想像する」ことが不得手です。

と、「相手から自分はどう見えるか、

Q 身だしなみを整えるのが苦手な人に、どう注意したらよいでしょう？



臨床心理士 山藤奈穂子

発達障害がある人のためのソーシャル・スキル (7) 身だしなみを整える

Q 身だしなみを整えるのが苦手な人に、どう注意したらよいでしょう？

A まず「あなたのせいではない」と話し、無臭の洗剤やシャワーヘッドの交換、専門医への受診、服薬を検討します。専門医からのアドバイス、訓練法を教えてもらう、服薬などによって、本人と周囲の「困り感」を軽減することができ

Q どのような方法があるのですか？

A まず「あなたのせいではない」と話し、無臭の洗剤やシャワーヘッドの交換、専門医への受診、服薬を検討します。専門医からのアドバイス、訓練法を教えてもらう、服薬などによって、本人と周囲の「困り感」を軽減することができ

Q どのような方法があるのですか？

A まず「あなたのせいではない」と話し、無臭の洗剤やシャワーヘッドの交換、専門医への受診、服薬を検討します。専門医からのアドバイス、訓練法を教えてもらう、服薬などによって、本人と周囲の「困り感」を軽減することができ

こうした場合、「きちんとしなさい」「におうよ」と言っても、わかってもらえません。あいまいな言い方ではなく、本人が一番損をしていることや、なぜ清潔にするのかを話して、納得してもらいます。

新年度になっていろいろな制度が変更になりますが、なかなか分かりづらいですね。その時は相談に乗ってください。

(鹿児島市・女性)

読者の声 200

全労済備えあればひと安心
(志布志市・男性)

先日は久々の雪で通勤に一苦労でした。安全に通勤・通学する人々を朝早くから運んでくださった交通機関の方々に感謝です。

(いちき串木野市・男性)

「ニュース・ワード」では、初めて聞く言葉が多いです。横文字に抵抗を感じる年になったということでしょうか。

(南九州市・男性)

子供が成長すると、いろいろとお金がかかりますね。貯蓄したくてもなかなか大変です。ろうきんさんや安心ネットの広告を見るとホッとします。

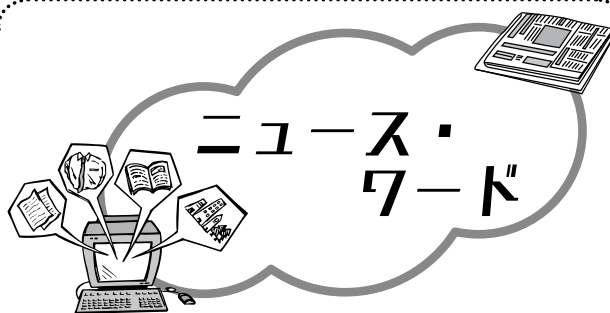
(始良市・男性)

自分の場合、仕事から座りっぱなしということは少ないですが、一日中座りっぱなしだと腰が痛くなることがあります。662号に「スタンディングデスク」というワードの説明がありました。少しでも症状が改善されたいのはいいことです。

(出水市・男性)

今年に入ってまだ数日のことでしたが彼女がようやくできました!! 結婚も視野にいれていますので、ろうきんさん、今後もしよろしくお願いします!

(阿久根市・男性)



ワイドFM

でに昨年12月に放送が始まっており、春の番組変更期には国内の約半数のAM民放局がサービ

いままでAM放送が聴きづらかった地域の人がFM放送で同時刻に放送されている番組を聴けるというサービス。



入を開始する見込みです。災害時、停電でテレビやパソコンがダウンした際のラジオの有用性については、約4年前の東日本大震災の生存者も多く証言しています。

「望ましい男女の役割」を学ぶ 大隅地域労福協

1月30日(土)に鹿屋市の肝属教育会館で21人が参加し、「15秒間のジェンダーCMチェック」という演題で、大隅地協女性委員会の大木委員長(鹿教組)より講演をしていただきました。

「望ましい男女の役割」などについて、15秒間のTVコマーシャルをチェックし差別的な表現について学びました。男はこういったものの、女はこういったものというメッセージがあるものや、必要のないのに人の目を引くために男女の体を見せたりするものなど普段何気なく見ているCMですが、無意識のうちにイメージが作り込まれて影響を受けていることを感じました。

参加者からは、「CMチェックの方法について学び、いろいろな視点

で見ることができると分かりました。これから子供をもつかもしれない立場としてとても良い勉強になりました」「ジェンダーという視点からさまざまなことを考えさせられました。職場においても性別・性別による役割が分かれているところもあると感じました」との感想を頂きました。

しっかり勉強をした後に、場所を変えて参加者全員でランチ交流会を行いました。

各職場の紹介や悩みなど話が尽きず、楽しく交流を深めることができました。



身近な事例で説明する大木委員長

「恒例の囲碁大会」&「介護教室」を開催 北薩地域労福協

2月22日



真剣勝負です！

(月)、川薩教育会館において、恒例の囲碁大会を開催しました。今回も高退連川薩地域協議会の会員

12人が参加しました。

大会は、申し込み時に自己申告で段級位を登録し、2クラスに分かれて勝負しました。

9時からそれぞれ、対戦相手を決めて開始し、途中昼食時間も惜しんで、熱い戦いが続きました。上位クラスの優勝は、柳原吉右さん(自治労退職者会)、下位クラスの優勝は、堂元義敬さん(JP労組退職者の会)で、終了後表彰

式を行い、出水地区との対戦希望など、来年に向けた提案も出され、和気あいあいとした雰囲気の中で終了しました。

なお、出水地区は、2月23日に労金出水支店と共催し、17人が参加しました。



骨の仕組みは複雑です

2月24日(水)、薩摩川内市国際交流センターにおいて、北薩地域労福協「介護教室」を開催しました。

今回は、介護する側の事も考えて、Fineカイロ整体院の川原昭久先生を講師に招き、介護される人と、介護する人の健康について、実技を交えて講習を受けました。

参加者は26人。人間の体は背骨を中心に殆どの人がゆがんでいて、そこから痛みやしびれなどが出ることで、介護する時に、その理解があれば少しでも負担が減らせることなど、模型や道具を使って、分かりやすく説明されました。

介護する人も健康で、元気で世話ができるように、取り組むことが大事など、多くを学ぶことができました。また実際に骨盤のゆがみを矯正し、バランスを整える体操も行い、理解を深めました。

「スポーツ交流会」& 「介護教室」を開催 熊毛地域労福協

2月27日(土)午前10時、安房体育館で、熊毛地域労福協・ろうきん推進委員会共催イベントを開催しました。参加者は45人で、有馬ろうきん推進委員長のあいさつの後、スポーツ交流会を行いました。

競技は、ドッジボールで約10人1チーム×単産混合4チーム、1セット5分×2セットを総当たり戦で行いました。

どのチームも必ず子どもが参加し、大人たちを相手に普段の力を遺憾なく発揮していました。

大人になつてからは、なかなかすることのないこの競技、柔らかいソフトバレーボールを使用したため、予想に反したボールの動きに対応できず弾いてしまったり、逆にうまく弾いて仲間を取つてもらったりと、毎試合白熱したゲームが繰り広げられました。

昼食後のお楽しみ抽選会では、参加者全員に景品が当たり、大い



足裏測定シスター使用で正しい歩き方指導！



ソフトバレーボール使用で、予想外のボールの動きに…ヒヤヒヤ

に盛り上がりしました。

最後に、けがもなく無事に終了することができ、充実した単産交流・親子交流となりました。

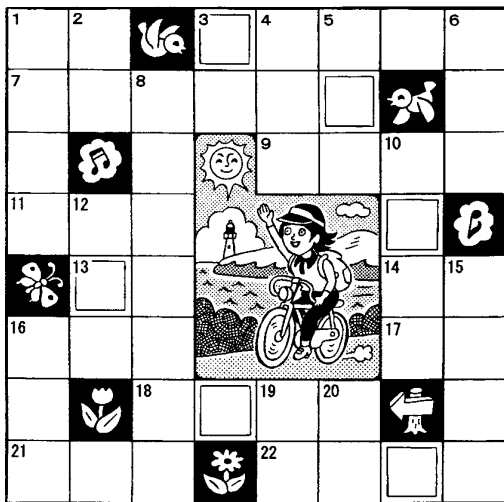
また、同日午後1時、安房体育館で介護教室を開催しました。

参加者は30人で株式会社カクイックススウィングから講師を招き、介護予防のための正しい歩き方について、講演いただきました。

これまでの生活習慣などにより生じた足部のゆがみが、全身のゆがみへつながり、ひざの痛み、腰痛、肩の痛みの原因となっており、ゆがみを治すことは難しく、適切な位置に補正することが重要であるとのこと、インソールが紹介されました。また、歩行圧の変化や歩行時の重心移動の状況を計測できる足裏測定システムを使用し、たくさんの方々が、どのような歩行をしているのか体験しました。

65歳以上の「寝たきり」の原因の一つに、転倒が挙げられます。少しでも長く歩けるように、正しく歩く事は大事なことでありと感じました。

いつ何時、介護される側、介護する側になるか分かりません。介護について知ることは、大事なことです。介護される側にならないためにどうすべきか、どうしたら介護される方が少しでも自立した生活ができるか、考えるきっかけとなれば幸いです。



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの6文字をうまく並べてできる言葉は？

1 タテのカギ
砂漠の中の緑地

22 胞
ペローの童話「……をはいた猫」

21 おしべから出る粉状の細

18 スリットたち

17 体力の……に挑戦するア

16 国語、算数、……、社会

14 ありましたね。……伝

13 小学校の図書室には必ず

11 余暇の遊びです

9 南の瓜はカボチャ、では

7 西の瓜は？

3 無くて七……

1 余暇の遊びです

聖徳太子が活躍したの

高視聴率の大河ドラマで

父母の女きょうだい

ヨコのカギ

20 釣りは最近、スズキ

19 のことをシー……と呼び

16 諦めること。……を投げ

15 暖かくなると、雪山で発

12 生

10 ……の前の小事

8 紅玉といわれる宝石です

6 ……が出ると、桜の名所

5 はすごい人出になります

4 給料前はこれだたいへん

3 ……休暇を取る前に辞め

2 たお騒がせ議員がいまし

16 プラジカが非常事態を宣

15 言

12 河の豚はフグ、海の豚

10 は？

8 漢字から生まれました

6 真田十勇士の一人、霧隠

4 才蔵は……流忍者だと

2 か

「解答」は必ずハガキで、住所、名前、職場名、郵便番号を明記のこと。1人1通に限りま

な、労福協各団体に対するご意見などもお書きください。締め切りは2016年4月8日必着。今回も20人の方に賞品を呈します。

「送り先」〒890-0064 鹿児島市鴨池新町五七七一〇三 鹿児島県労働協「クイズ」係

2月号のクイズの答え

多数の応募をいただきありがとうございます。応募総数は93通で、92通が正解でした。厳正な抽選の結果、下記の20人が当選されました。

クイズ当選者(敬称略)

山口	白江	前田	内苑	迫間	吉岡	横川	池元	田原	大栄
修	剛	政博	素美	一雄	節子	大	浩喜	勝矢	富廣
叶	牟礼	外園	渋谷	山崎	鶴木	齋藤	内田	小山	下野
秀和	好幸	寛也	康雄	悦子	浩史	秀子	俊英	小百合	浩二

答え「ハルイチバン」(春一番)

ZENROSAL NEWS

住まいの備えは全労済の
住まいる共済で安心。

全労済の
住まいる共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

教育ローン
キャンペーン実施中!!

融資限度額 1,000万円以内

2016年
3月31日(木)
まで!!

NEW
カード型

契約額内で必要なときにATMでご利用できる、とっても便利な教育ローン[カード型]新発売!!

※カードのご利用については在学期間を限度とし、最長7年以内となります。

教育資金のご相談は「ろうきん」におまかせください!

●くわしくは、九州ろうきんホームページから●

九州ろうきん 検索 <http://kyusyu.rokin.or.jp/>

九州ろうきん

ひとりで悩んでいませんか?
安心ネットが、あなたを応援します
まずはお気軽にお電話を!

■労働相談：月曜日～金曜日(祝日除く)
■介護相談：火曜日
■住宅なんでも相談：木曜日
■多重債務相談：火曜日・金曜日

相談時間：午前10時～午後4時
その他：休日、時間外のご相談は、別途対応します。
相談は無料。ただし、専門家に依頼する場合、別途費用がかかる場合があります。

安心ネットかこしま ☎0120-307-830
鹿児島市鴨池新町5番7号 県労働者福祉会館6F
連合鹿児島地域協議会内

安心ネット始良伊佐 ☎0120-783-022
霧島市隼人町見次1089-1 ユーミー隼人ビル101
連合始良伊佐地域協議会内

*九州ろうきんホームページアドレス
<http://kyusyu.rokin.or.jp>

*全労済ホームページアドレス
<http://www.zenrosai.coop>

*労福協ホームページアドレス
<http://kagoshima-rofuku.jp/>